

学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立 八尾支援学校
校長名	渋川 雅宏
准校長名	東 文義

開催日時	令和4年7月7日(木) 10:00 ~ 12:00
開催場所	本校 図書室
出席者(委員)数	6名
出席者(学校)数	11名
傍聴者	3名
協議資料	令和4年度学校経営計画及び学校評価、令和4年度使用教科用図書採択一覧表、令和5年度入学生教育相談のしおり(小・中・高等部) 他
備考	

議題等(次第順)

- 開式の辞
- 校長挨拶
- 学校運営協議会委員及び事務局の紹介
- 報告
 - 令和4年度学校経営計画
 - 各学部の状況
 - 令和3年度卒業生の進路状況
 - 「八尾支援学校における行動制限の指針」について
- その他
 - ・学校教育自己診断について・令和4年度教科用図書選定について・意見書(バス停留所でのご意見)
- 准校長挨拶
- 閉式の辞

協議内容・承認事項等(意見の概要)

・R4学校経営計画について
 家庭や学校が抱える課題は、複雑化・多様化している。子どもを真ん中に据えて、学校と福祉がそれぞれの立場で意見を出し合いながら、理解しあえる関係を築き、連携できればよい。
 全校的な授業アーカイブ化は他校にはない取り組みである。研修に有効活用できればよいと思う。また充実した人権研修を引き続きお願いしたい。
 高等部生徒の実習先を開拓する。進路や就労の選択肢は多岐に渡っており、関連する基礎的知識を教員が身につけておく必要がある。

・各学部の状況について
 体育館の空調、プレハブ校舎のトイレ改修等、環境整備面の課題がある。体育館へのクーラー配備は、順次、府立支援学校において進んでいる。トイレ改修の件は、引き続き、府へ要望すべき案件である。

・令和3年度卒業生の進路状況について
 担当教員が人事異動をしても、就労した卒業生へ変わらないアフターケアができるよう、学校として教員間の引継ぎに努めていただきたい。
 現在、卒業後の3年間は学校においてもアフターケアに努めており、障害者就業・生活支援センターや福祉につなげて、卒業生が長く多方面からのサポートを受けられるようにしている。

・「八尾支援学校における行動制限の指針」について
 児童生徒のアセスメントを適切に行い、予防的観点を重視し、教育活動に反映させていくことが大事である。個別の教育支援計画や指導計画への記載、位置づけも重要である。
 日頃から本人の行動を保護者と共有し、信頼関係を築いていくことが必要である。

・保護者からの意見書の扱いについて
 早急に対応できるものについては、運営協議会委員と共有しながら、学校主体で対応する。内容によっては、府教委に報告をしていく。

次回の会議日程

日程	令和4年 11月
会場	本校 図書室